

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 郡上特別支援学校施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 環境整備係 電話番号：058-272-1111(内8684)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,788 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,788	0	0	0	0	0	0	0	2,788
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・郡上特別支援学校は大和校舎の狭隘化により、平成21年4月に高等部を那比校舎に移転し、現在まで2校舎体制が継続している。
- ・大和校舎と那比校舎間は、約20km、車で約30分の距離があるため、職員会議や分掌会等での移動の負担や、個人情報管理、決裁事務等の煩雑さの課題を抱えている。また、学校行事は校舎別で実施しており、計画や準備業務等、職員の業務負担が過大となっている。
- ・2校舎統合のための学校用地を購入し、特別支援学校設置基準を満たす新校舎を整備することが必要である。
- ・令和2年度に候補地の用地調査を実施し、令和3年度には地権者と地域住民に対して説明会を実施し、候補地での再整備について理解を得ている。
- ・令和4年度は、候補地での再整備を進めるために必要となる動植物調査、埋蔵文化財調査を進めている。

(2) 事業内容

- ・大和校舎と那比校舎を統合し、知的障がい、肢体不自由、病弱等のどの障がいにも対応できる校舎を新たな用地に再整備するために必要な用地補償費、調査（地質・不動産鑑定）測量（地形・丈量・確定測量）を行う。
- ・令和4年度について、再整備に必要な基本計画について、令和3年9月に新たに公布された特別支援学校設置基準や新たに判明した土砂災害に関する地理的条件に合わせて策定（変更）を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県立学校のため県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,788	基本計画策定費
委託料	0	造成工事委託費（810,698千円）債務負担R5:R6:R7:R8=0:0:0:100
合計	2,788	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・「新子どもかがやきプラン」（平成29年3月策定）に基づいた、アクションプラン2020、アクションプラン2022において、重点施策2「障がいのある児童生徒のニーズに対応した学びの場を整備」に位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

・令和3年9月に特別支援学校設置基準が公布され、校舎面積や運動場面積について設置基準より低下した状態にならないこと、水準の向上を図ることに努めなければならないこととしている。他の都道府県においても設置基準の集中取組計画を策定して設置基準に基づく整備に取り組んでいる。

(3) 後年度の財政負担

・債務負担（R8年度用地一括買戻し：岐阜県土地開発公社概算設計より）

(4) 事業主体及びその妥当性

・国の公布した設置基準を満たし、特別支援学校に通学する児童生徒の教育の質の向上を図ることとなるため、妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
2校舎体制解消のため、令和9～10年度完了を目標とした施設整備を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

1つの学校の施設整備であり、指標を設定することは適切でない

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の用地調査を実施。 ・郡上特別支援学校の基本計画策定。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の地権者、周辺住民へ郡上特別支援学校の再整備とその候補地について説明。 ・整備に関する反対意見なし。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の動植物調査と埋蔵文化財調査を実施。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	2校舎体制等による学校運営上の課題を解消するため、事業を実施する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 2校舎統合に向けて、郡上市と連携を図りながら計画的な施設整備を進める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 早期の2校舎統合に向けて計画的に校舎整備を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--